



日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平 7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小山敏正

第76号

2008年

5月発行

【ブログアドレス】
http://plaza.rakuten.
.co.jp/nakanoakito

しん 赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円

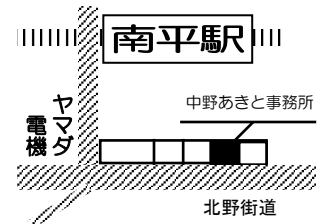
日曜版1ヶ月 800円

お申し込み・南多摩事務所

TEL042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



市立病院でお産ができない

しかし、一方では、市立病院が出産取り扱いをすべて停止することに対し疑問の声も上がっています。3人の産科医がいる病院で、正常な分娩さえ受け入れ不可能なのでしょうか。八王子小児科病院などの連携を強化することによって、より安全な体制が確保できないのでしょうか。

しかし、一方では、市立病院が出産取り扱いをすべて停止することに対し疑問の声も上がっています。3人の産科医がいる病院で、正常な分娩さえ受け入れ不可能なのでしょうか。八王子小児科病院などの連携を強化することによって、より安全な体制が確保できないのでしょうか。

日野市の説明によれば、3人いた小児科の常勤医が3月に1人となり、その1人も6月に退職することになり、分娩に立ち会う小児科医がいなくなることに伴う処置だということだ。

市立病院産婦人科では、産婦人科医、助産師とともに小児科医が立会い、ハイリスクな出産に対応してきました。小児科医が不在では安全の確保ができないということです。

日本共産党市議団は4月21日、この問題で馬場市長と病院長に申し入れを行いました。

市は小児科、産科の立て直しに
あらゆる手立てを

さま変わりの街頭署名 (高齢者医療制度廃止)

4月に実施された「後期高齢者医療制度」。怒りや不安が沸騰し、街頭署名行動でも強い反応が見られます。

4月12日の土曜日午前、南平ヤマダ電機前の行動では1時間で111筆と、これまでに比べ倍の署名が集まりました。国会では四野党が一致して制度の「廃止法案」を提出しています。「中止・廃止を求める署名」はますます重要です。



日本共産党
市議団

市長と病院長に申し入れ

日本共産党市議団は4月21日、馬場市長と市立病院長に対し「市立病院でお産が継続できるようあらゆる手立てを」と申し入れしました。

党市議団は、小児科の常勤医師の確保を急ぐことは当然としても「3人の産婦人科の常勤医師がいるもとの、通常分娩さえ受け扱えないというのは市民の理解は得られない」とし、「八王子小児科病院などの支援を受けるなど安全、安心な体制の確保につとめ、

あらゆる手立てを尽くして出産の受け入れを継続するよう」求めました。

病院長は「小児科医を確保し、できる限り早く受け入れができるよう全力を尽くす」と答えながらも、「お産の取り扱いを一時停止することは避けられない」と答えました。市長への申し入れには河内副市長が対応し「申し入れを受け止め全力を尽くしたい」と答えました。



短 信

1日のメーデーで始まる5月。太陰暦なら月初めは新月の闇。月はやがて満ち地上を照らす。遠くは昭和、

戦争と抑圧の暗黒に終止符がうたれ、現憲法が制定されて61年になる▼戦後、母子寮に一時住んでいた。そこへ昭和天皇が訪れたとき母は頭を上げることができなかったという。

「何で頭が上がりなかったのか」「何で戦争を止められなかったのか」を母に聞いたことがある▼学校では天皇は現人神から普通の人になったこと、戦争を放棄したことなどを学んだ。

当然のことだと思った。ひとつだけ不審に思ったのは、「この憲法が国民に保障する自由および権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」という12条である。

「何で...」「みんな守るに決まっているよ」単純無垢の子どもの発想である。憲法を改悪しようとする勢力の存在など思ってもよらなかったからである▼憲法は既にこのときを予想していたのである。母に発した質問の矢は、時空の回廊を巡って私に向っている。あたふたしている私に質問の矢が「がんばれよ」と声をかけているようにも感じる。母の声かもしれない。(K)

市内8学童クラブ、正職員を引き上げ

▽一方的処置、市長は責任にある説明を△

この4月から、市内の27か所の学童クラブのうち8か所で、正規職員がいなくなりました。当初市は「配置基準の変更ではなく職員の欠員によるもの。制度の変更ではないので保護者への説明は必要ない」と言ってきました。

日野市では、職員配置基準として1学童クラブに1名の正規職員を配置すること、また、児童数に応じて非常勤職員や臨時職員を配置することを定めてきました。保護者の抗議で2回にわたって説明会が開かれましたが市は、「欠員によるもので配置基準の変更ではない」と説明。

「欠員なら補充すべき」という保護者の要求には「補充の考えは無い」「専門性を有する業務に嘱託職員を導入し、正規職員の定数削減をはかることは、第三次行革の方針」と繰り返し返しました。

市は「嘱託職員は賃金や待遇面では異なる部分もあるが、子育てに関わる気持ちは変わらない」

「サービスの低下は起きない」と説明。保護者からは「嘱託職員の善意や努力に頼った運営でよいのか」

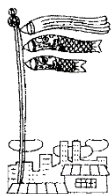
「嘱託職員の給料で正規職員と同じ仕事を求められたら待遇に疑問が起きる」「嘱託職員に替えてお金を浮かせてもメリットはない」などの声があがりました。保護者の代表は、馬場市長に説明会への出席を求めていましたが、市長は拒み出席しませんでした。

危険個所に交通標識を要望

豊田地域のスーパーアルプス付近は交通量も増し、近くには老人ホームもあることから交通事故が懸念されていました。3月にお年寄りの死亡事故が発生しました。区画整理審議員、自治会関係者が市の職員と一緒に現状を見ながら道路標識、交通標識の設置について具体的な要望を行いました

◎お詫びと訂正

4月号「08年度日野市予算」の文中で、市が計画している大型施設の名称を「ふれあい館」としましたが、正しくは「市民の森ふれあいホール」です。お詫びの上訂正します。



“新銀行東京問題、これから勝負です” 都議会議員 村松みえ子

みえ子の
飛びある記



都営住宅建設（1000戸）に100億円、3000円のシルバーパスを発行するのに30億円、中学生までの医療費無料化に14億円、小学1年と2年生の30人学級実現に58億円、都内小中学校に選任司書を配置するのに20億円…。私たち共産党都議団が提出した「予算組み替え案」を改めて見ています。これが実現できたらという思いと、新銀行東京の400億円追加出資への怒りが交差します。

「貧困と格差」がいわれるいま、都民の生活に向ける視点は知事や与党には無いのでしょうか。とくに中学3年生までの医療費の無料化は知事自身の公約だったはずですが、オリンピックに焦点をあてた予算編成の影で置き去りにされています。

都民の怒りが集中した“新銀行東京問題”は、金融庁の検査や半期ごとの決算、株主総会などがあり、議会での審議の場は続きます。ご注目下さい。

《08年6月の無料法律相談》

村松みえ子事務所 午後6時～8時

6月 5日（木）

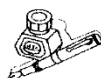
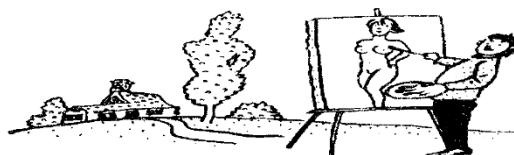
市役所6階・共産党控室 午後1時～3時

6月12日（木）

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

村松事務所 TEL042-582-0504

中野事務所 TEL042-599-3350



◇ミニ・ニュース◇



◎豊田地域と西平山地域で「区画整理懇談会」

4月19日豊田地域、27日に西平山地域で「区画整理懇談会」が開かれました。区画整理の進展によって両地域とも多数の参加があり用意した資料が足りなくなるほどでした。

「曳屋（ひきや）の基準は？」「換地先の土地が不安」「補償金はどう決まるのか」などの質問が中野あきと議員に出され、また、「懇談会は確実に開催してほしい」という要望意見もありました。

◎一番橋通りの京王線との立体交差工事

一番橋通りの京王線踏切部分のアンダーパス工事は、今後、擁壁、排水施設、舗装、側溝整備などの工事が行われることになっています。完了までにおよ3年ほどかかる見込みで、完成は平成23年4月の予定です。

◎「平山季重ふれあい館」に駐車場を

4月オープンした「平山季重ふれあい館」には駐車場がありません。当初は数台のスペースが確保されていましたが、設計変更で敷地内には駐車スペースはなくなりました。（障害者用の1台分のスペースは保有）

現在は臨時的に、旧地区センター跡地が利用されていますが、正式の処置ではありません。折角の施設が不便にならないよう、利用者の器材運び入れなどのための最低限のスペースは必要です。

